



NAGASAKI
MONO-GRAPH

04 長建工業 株式会社

チヨウケンコウギョウ カブシキガイシャ

諦めない気持ちがあつてこそ

二股に分かれたり、ゆるやかなカーブを描いたり。まるで血管のように、船殻内に縦横無尽に張り巡らされた膨大な空調用ダクト。乗船客の目には見えないけれど、空調や換気、排煙といった「空気」の流れに欠かせない緑の下の力持ちだ。ちなみに長崎造船所で建造された豪華客船2隻「アイダ・プリマ」「アイダ・ペルラ」のダクトの総延長は3万6000m。その半数以上の製造に関わり、快適な船の旅に貢献している。強みは依頼主への提案はもちろん、設計から納品まで一貫生産が可能なこと。ダクト製作に欠かせない金属の切断、曲げ、製缶、溶接、塗装もすべて自分たちの手で責任を持って。なかでも長年の経験に裏打ちされた溶接は職人の腕の見せ所だ。仕上がりを左右するポイントは溶け出した金属の流れを見極めること。幅や高さを一定に保ち、表面にできる波紋が美しくそろよう集中力を高めていく。「出来ない理由を言うより出来る方法を考えよう!」。工場内に掲げたスローガンがこうした高い技術を支えている。



YAGレーザー溶接機導入による 歪み克服と生産性向上

| 補助事業のきっかけ |

品質、精度、スピード対応年々高まるニーズに応えたい

板金加工の基本工程の1つである溶接。金属が薄ければ薄いほど、熱によって歪みが生じてしまい施工時間に時間がかかってしまう。さらに主な取引先である大手造船所からも、より質の高い船舶用ダクトを求められるように。当初は県外に外注をしていたが、今後ますます需要が増えることが予想されるため最新の溶接機を導入しようと決意。

| 補助事業の内容 |

機械の性能と職人の技術でより美しい仕上がりを追求

これまで薄板の溶接を行うときに使っていたTIG溶接機。t1.0以上でなければ溶接ができないうえ、伝熱が強いため歪みが大きく発生するという問題があった。そこで「t1.0以下の溶接」「歪み縮小」を実現するため、YAGレーザー溶接機を導入。主力商品である角ダクトを製作し、今後高まるであろう仕様や多様化するニーズに応えながら受注確保を目指す。

| 補助事業の成果 |

新しい溶接機をうまく活用し、新たな分野にもチャレンジを

YAGレーザー溶接機は材料の熱変化による歪みが少ないため、仕上がりも美しく。従来のものと比べるとその差は歴然。歪みが約50%抑えられただけでなく、加工時間も大幅に短縮でき生産性も飛躍的に向上。県外からの薄板加工の受注も増えてきた。今後は技術にさらなる磨きをかけ、造船業だけでなくとどまらず半導体や建築板金など異なる分野にも挑戦していきたい。

Information	会社名	長建工業 株式会社	
	住所 連絡先	西彼杵郡時津町西時津郷1000-145 ☎095-882-2485 FAX.095-882-7533 http://www.cyouken.co.jp ✉togitsu@cyouken.co.jp	
□代表取締役 古谷 和行 □設立 1973年4月1日 □資本金 2,500万円 □業種 製造業 □従業員 66名			

